

編集後記

『眞實心』第十一集をお届けします。

昨年はわが国も新たな時代の幕開けを迎え、それに呼応するかのようになり、世界中が揺れ動きました。世界史的にみても、歴史に刻み込まれる年になるのは確かなようです。

その一方で、学生生活を捉えてみると、第二次ベビーブームのおおりで学生数が急増し、おまけに世は情報の氾濫とかで、いやおうなく大勢に押し流されざるを得ないような風潮の中にあります。

世は移り変わり、新たなテクノロジーはどんどん開発されて、ややもすると時の流れに翻弄されがちですが、パソコンがどれほど発達し、情報バンクがいかに整備されても、親がいて子がいて、食べて寝て働いて、そしていつかは死んでいくという人間の基本的な有様は、いつの時代も変わりようがありません。

この一書にまとめられた講話の数々には、そういった永遠に変わらない人間生活の指針とな

るものが示されています。

人生八十年といわれる今日、時につまづき、行き詰まることも多いと思います。今すぐにはわからずとも、そんな時にこの冊子を繙いてくださるなら、きっとそれまで見忘れていた本来の生き方を取り戻していただけるはずです。書棚の片隅にでも、そっと置き続けてほしいものです。

(編集委員記)

一九九〇年三月一九日発行

眞 実 心 第十一集 非売品

発行所

光 華 女 子 大 学
光 華 女 子 短 期 大 学

〒 615 京都市右京区西京極葛野町三八番地
電話 〇七五―三二二―一七八三四

印刷

㈱ 吉川印刷工業所

〒 601 京都市南区吉祥院道登中町四五―一
電話 〇七五―六九一―八一八六〇